





【日程・講師プロフィール】

<p>第1回 7月5日(日)</p>	 田村智英子さん	<p>1988年、東京理科大学薬学部卒業。2000年、米国国立ヒトゲノム研究所とジョンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院に留学、遺伝カウンセリングを学ぶ。2003年卒業、帰国後は複数の医療機関にて病気の遺伝に関する相談に応じる傍ら、日本における遺伝性を考慮したがん診療の普及を目指して、各地で講演を重ねるなど積極的に活動している。日本家族性腫瘍学会理事。現在は、日本で唯一日米の認定遺伝カウンセラーの資格を有する立場で、胎児クリニック東京、順天堂大学遺伝相談外来、岩国医療センターにて、遺伝カウンセリングの臨床業務に従事。「がんの遺伝について知るのは怖いことかもしれませんが、遺伝的にがんを発症しやすい体質であることを知っている対策が立てられ、がんの早期発見や適切な治療にもつながります。最新の遺伝学的知識をがん診療に活かすことの重要性をお伝えするとともに、遺伝の可能性が低いケースも多々あることもお話しします。」</p>
<p>第2回 10月4日(日)</p>	 勝俣 範之さん	<p>1963年山梨県生まれ。 1988年富山医科薬科大学医学部卒業 2011年10月より、20年間務めた国立がん研究センター中央病院を退職し、日本医科大学武蔵小杉病院で、腫瘍内科を立ち上げた。日本でもまだ少ないがん薬物療法専門医・腫瘍内科医の一人。がんサバイバー支援にも積極的に取り組んでいて、正しいがん情報の普及を目指して、ブログ、ツイッター、フェイスブックを通し、情報発信している。近著に「『抗がん剤は効かない』の罪」（毎日新聞社刊）がある</p>
<p>第3回 12月6日(日)</p>	 設楽 紘平さん	<p>2002年東北大学医学部卒業 2002年～亀田総合病院 2005年～三沢市立三沢病院 2008年～愛知県がんセンター中央病院を経て 2012年～国立がん研究センター東病院 消化管内科医員として勤務。消化管癌、特に胃癌や大腸癌の薬物療法を専門とし、また新薬の開発治験にも複数携わっている。胃癌治療ガイドライン作成メンバーとしても活動。 「可能性のある治療を患者さんに情報提供し、最善の治療を決定することが重要と思っています。消化器癌や新薬のことなら何でも聞いて下さい」</p>
<p>第4回 2月14日(日)</p>	 中山 一隆さん	<p>昭和43年4月 石川県金沢市生まれ。 平成6年、日本医科大学卒業。同年4月、日本医科大学第3内科に入局。その後2年の研修を終えたのち、血液内科グループの門戸をたたき、平成11年8月より東京大学医科学研究所附属病院にて研修。日本初の成人に対する臍帯血移植の症例を受け持つ。翌年日本医大へもどり、造血細胞移植グループへ配属。平成15年春に3ヵ月間、米国メイヨー・クリニックにてvisiting clinicianとして研修。同年9月より、米国国立衛生研究所（National Institute of Health）へ留学。平成16年12月からは米国テキサス大学付属 MDアンダーソン癌センターへ留学。平成19年2月に帰国。平成22年より病院講師、平成26年より大学講師として日々の診療とともに後進の教育にあたっている。趣味はジャズ・ドラム、映画、読書。</p>

【参加申込票】

以下に必要事項を記入の上、FAX又は郵送にてお申込み下さい。メールは本文に項目をご記入下さい。

氏名	
立場	
住所	
電話・FAX	
E-mail	

講座	開講日	希望日に○
第1回	7月5日	
第2回	10月4日	
第3回	12月6日	
第4回	2月14日	